

市民からの持続可能性アセスメントの提案 とモデル事業の実施

活動地域  長野県及び日本全域

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

学習会等参加者 **433人**

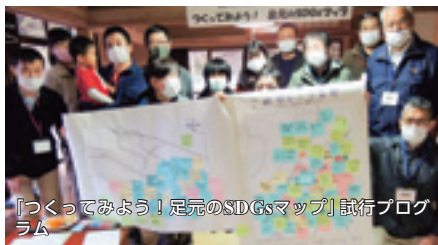
現地調査参加者 **131人**

今年度計画の達成度 **94.1%**

目標達成度 **32%**

活動内容と成果

- ①持続可能性評価の指標の構築
 - 下記②のモデル事業での指標と方法書づくり
 - オンライン学習会「開発とSDGs」(3回)開催
 - Web「市民からの持続可能性アセスメント」公開
- ②モデル事業の実施
 - 大阪万博に向けたワークショップ(2回)と提案作成
 - 夢洲での生きもの調査(33回)とフォトアルバム刊行
 - 生きもの調査の結果に基づくオンライン講演会(4回)
 - 「水島再生プラン」持続可能性アセス方法書の公開
- ③環境教育への反映
 - 「つくってみよう足元のSDGsマップ」開発と試行(1回)
 - Webゲーム「つきのくんと考える開発と環境」開発とオンラインプログラムの試行(2回)



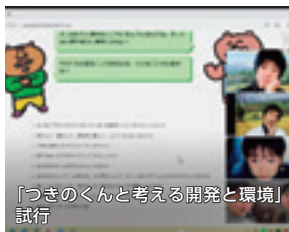
「つくってみよう！足元のSDGsマップ」試行プログラム

課題

日本では持続可能性アセスメントが導入されていない。開発行為の持続可能性を評価する仕組みを構築することで、SDGsに向けた取組みの実効性を高めていく必要がある。

目標

持続可能性アセスメントを市民活動の分野から提言し、実践を広げていくことで、日本における持続可能性アセスメントの導入を促進する。



「つきのくんと考える開発と環境」試行

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

新型コロナウイルス対応でオンライン実施を余儀なくされ、協力団体との連絡調整や学習会開催などで試行錯誤することが多かった。

■工夫した点

各地の環境NPO(大阪、倉敷、東京)と協働したモデル事業の実施と、専門団体・学会との連携。



今後の
展望

初年度、オンライン対応を余儀なくされたが、むしろ幅広い地域や分野、立場の参加を得て調査や検討を行うことができた。これを土台に日本での持続可能性アセスメントの導入に向けた機運を高めることに貢献したい。

〒398-0002
長野県大町市仁科町3302
電話：0261-22-7601 (FAX兼用)
E-mail: npo@omachi.org
HP: <http://npo.omachi.org/>

